

# 日本社会科教育学会 第74回全国研究大会（沖縄大会）のご案内（1次案内）※対面開催

日本社会科教育学会会長 大澤 克美  
全国研究大会実行委員長 白尾 裕志

今日の沖縄で続いている基地問題や貧困・格差等の課題は、世界情勢にも関わる問題を含んでおり、沖縄の課題は、「沖縄の」課題であると同時に過去から現在に至る日本社会が抱えてきた課題でもあります。

沖縄の貧困問題をはじめとする社会的な諸課題の背景には、琉球王国（1479～1879）が薩摩の琉球侵攻（1609）以降、中国と日本の二重支配であった段階から、琉球処分（1879）を経て、「沖縄県」として日本に編入されて以降の歴史的、経済的な支配構造がありました。戦前からは、サトウキビを中心としたモノカルチャー経済と労働力の流出（県外・国外）がありました。加えて、沖縄戦での甚大な被害、さらに戦後のアメリカ軍統治下における土地接収と、それによって生産手段を奪われた人々が、沖縄の再建と基地建設に向けた建設業を中心とする第二次産業やサービス業を中心とした第三次産業への移動していきました。このことは、現在も沖縄の産業構造の特徴として現れていて、沖縄の日本復帰後の「沖縄振興開発計画」（現在は第六次）の予算配分に影響して、沖縄で暮らす人々の生活に結びついています。

現在の沖縄は、日本の安全保障の最前線として、南西諸島への自衛隊基地建設、辺野古への新基地建設に伴う地方自治を無視した埋め立てが強行されるなど沖縄の軍事的な負担はますます大きくなっています。また米軍関係者による事件事故も引き続き起こっており、沖縄県民の平和的生存権は脅かされ続けています。

日本社会科教育学会を沖縄で開催する意義は、こうした課題について、子どもが主権者としてどう向き合うのかを沖縄で考えることにあります。そのため、本大会のテーマを「社会科教育は、現代の課題とどのように向き合い、何ができるか」としました。沖縄から社会科教育の未来を考えてみたいと思います。

1. 大会主題 社会科教育は、現在の課題とどのように向き合い、何ができるか。
2. 期 日 2024（令和6）年11月30日（土）・12月1日（日）
3. 会 場 琉球大学教育学部・人文社会科学部
4. 主 催 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
5. 後 援 予定：沖縄県教育委員会、各市町村（今後選定）教育委員会、小・中学校社会科教育研究会

## 6. 日 程

### 第1日目 11月30日（土）

8:30 9:00 12:00 13:30 16:00 16:15 17:15 17:45 19:30

受付	自由研究発表	昼食 評議員会	シンポジウム	休憩	総会	移動	懇親会 (大学生協)
----	--------	------------	--------	----	----	----	---------------

### 第2日目 12月1日（日）

8:30 9:00 12:00 13:00 15:30

受付	自由研究発表	昼食	課題研究発表
----	--------	----	--------

## 7. シンポジウム

- テーマ : 社会科教育は、平和形成にどのように貢献できるか  
コーディネーター : 山口剛史 (琉球大学) 鳥山淳 (琉球大学)  
シンポジスト : 里井洋一 (沖縄県立美術館・博物館長) 北上田源 (琉球大学)  
伊良波剛 (那覇市立神原中学校)

【趣旨】ロシアとウクライナの戦争、イスラエル軍によるパレスチナ人への虐殺など、戦争と平和をめぐる課題は深刻さを増しています。子どもたちも日々ニュース等で「戦争」に触れる日常です。そんな中、世界中では戦争を止めるため多くの人が声を上げていますが、戦争・虐殺が続く現実には、「なぜ戦争を止められないのか」という疑問が教室でも聞かれます。

日本においても「台湾有事」が叫ばれ、「最も厳しく複雑な安全保障環境」として、南西諸島への自衛隊配備が進められています。このように戦争と平和をめぐる課題は、社会科教育が向き合わなければならない課題であり、今一度社会科教育が平和形成にどのように貢献できるのかが問われているといえます。

シンポジウムでは、この問いに対し、これまでの沖縄の社会科教育・平和教育実践をふりかえり、実践の中で何を目指してきたのかを、登壇者の先生方のご提案をもとに検討していきます。

## 8. 課題研究

### I. 社会科教育は現代社会の構造的差別・暴力とどう向き合うか

- コーディネーター : 里井洋一 (沖縄県立美術館・博物館長) 池上大祐 (琉球大学)  
指定討論者① : 山口剛史 (琉球大学)  
指定討論者② : 和井田祐司 (大阪暁光高校)

#### 【趣旨】

大会テーマである「社会科教育は、現代の課題にどのように向き合い、何ができるか」の具体化していくうえで、現代の課題として戦争(直接的暴力)、そして自治権・生存権を侵害する構造的暴力にも目を向ける必要があります。そのことで、「平和が大事」とか「歴史的の教訓は何か」で終わることなく、学習者が平和をつくる力として、歴史の教訓の活かし方、具体的な政策立案能力や平和創造に向けた実践のあり方などを学習者が考え合うための学びの在り方を考えていきたいと思えます。

### II. 地域との連携・協働を通じた社会科授業の創造

- コーディネーター : 北上田 源 (琉球大学) 外池智 (秋田大学)  
指定討論者① : 屋良真弓 (南風原町立南風原小学校)  
指定討論者② : 森岡稔 (西原町立西原東中学校)

#### 【趣旨】

グローバル化が進んだ現在であっても、子どもにとって身近な地域を学習対象とし、地域の史跡/人材/資料など地域資源を教材化し、子どもが具体的に社会についての認識を深めていくことができるようにすることは社会科教育の原点です。しかしながら、各地で進む都市化や人口流動化にともない、従来と同様に学校を拠点とした形で地域から学ぶことは難しくなりつつあります。今回は、沖縄県内で地域と連携・協働を進めながら地域学習、特に沖縄戦に焦点を当てた授業実践に取り組まれてきた先生方とともに、地域学習の現状と、今後の地域や関係機関との連携・協働のあり方について考えてみたいと思えます。

### Ⅲ. 社会科における ICT 活用と教育 DX をどのようにとらえるか

コーディネーター：白尾裕志（琉球大学） 前田賢次（北海道教育大学）

指定討論者①：子安潤（愛知教育大学名誉教授）

指定討論者②：中西新太郎（横浜市立大学名誉教授）

#### 〔趣旨〕

コロナ禍の 2020 年度からの「一人一台端末」の配布に始まり、中教審答申『令和の日本型学校教育』（2021 年）以降、「ICT を活用した個別最適な学び」及び「協働的な学び」が、学校に求められる過程において ICT 活用が加速し定着しつつあり、多様な学習支援ソフトも開発される中で授業の形態も変化しつつある。こうした動きはやがて、組織のあり方の変化につながる教育 DX になることを見越した時に、これまでの教育から何が変わろうとしており、何を教育実践の成果として、継承していくべきことなのかについて考えていきたいと思います。

### Ⅳ. 社会科と他教科との関連を図った単元開発をどのようにするか

コーディネーター：佐藤 公（明治学院大学） 磯山恭子（国立教育政策研究所）

指定討論者：峯 明秀（大阪教育大学）

#### 〔趣旨〕

児童・生徒には、急速に変化する社会に積極的に向き合い、他者と協働して社会に見られる課題を解決したり、様々な情報を精査し再構成することで新たな価値を創造したりすることが求められています。前回大会の課題研究では、各教科・分野・科目等相互の関連を図った社会科の学習指導を充実させることの重要性を確認しました。こうした検討結果を受け、今回は、社会科を中心にして各教科等相互の関連を図った単元での学習の充実に注目します。公民としての資質・能力を児童・生徒に確実に育む、社会科と他教科との関連を図った単元開発のあり方について、具体的な事例を踏まえ、議論を深めていきたいと思います。

### Ⅴ. 教員研修において社会科教師をどのように育てるのか

コーディネーター：木村勝彦（茨城大学） 宮崎沙織（群馬大学）

#### 〔趣旨〕

教員は現行学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められ、さらに「令和の日本型教育」の実現を目指す中で、個別最適な学びと協働的学びの一体としての充実が強調されるようになってきました。その中で教員に対する研修で社会科の教師を新たな時代にあった形でどのように育成するのかということは重要な課題だと考えます。この分科会では大学及び大学院において社会科教師を育成するうえで研修をどのように考えるべきなのか、またこれまでどのように研修を行ってきたのか等を考えることで社会科教師育成における研修の意味を考えたいと思います。

9. 大会参加の申込みについて ※本学会は免税事業者のため、インボイス登録番号はございません。

(1) 大会参加費（不課税）

一般会員：3,000 円（事前登録）／3,500 円（当日受付）

学生・院生会員：2,500 円（事前登録）／3,000 円（当日受付）

非会員：3,500 円（事前登録・当日受付）

(2) 懇親会参加費（事前登録）：4,500 円（税込 10%）

会場：琉球大学生協中央食堂

時間：17 時 30 分～20 時 30 分

(3) 弁当代 第 1 日目のみまたは第 2 日目のみ 800 円（税込 8%） 両日 1,600 円（税込 8%）

11 月 30 日（土）は大学生協が開いています（11 時 30 分～14 時 30 分）。琉球大学東口・北口を出た所にはコンビニがあります。大きな飲食店はなく、東口の先の信号を右折して、ファミリーマートにかけて、小規模な飲食店がある程度です。また、12 月 1 日（日）は大学生協の食堂は営業しておりません。

(4) 大会参加の事前登録について

①大会参加の事前登録および参加費の支払いは 6 月 17 日（月）からです。本学会 HP の【大会参加

（事前登録）申込フォーム】で事前登録・参加費の支払い（クレジットカード決済または銀行振り込み）を行ってください。なお、事前登録と参加費支払いの両方を終えて参加申し込みが完了となります。

②大会参加の事前登録申込終了後、「受付番号」が自動送信されます。また、お支払いについて「銀行振込」を選択された方はお振込先口座が自動送信メールにて届きます。自動送信メールが送られてこない場合は、株式会社コムラ（E-mail：jass74@kohmura.co.jp）までお問い合わせください。

※参加申込受付業務は株式会社コムラに委託しております。なお、事前参加申込受付期間終了後の参加キャンセルおよび返金是对応いたしかねます。

③大会参加事前登録の締切は 10 月 18 日（金） です。事前登録期間が終了した後の参加キャンセルは、大会実行委員会（E-mail：jass74ryukyu@gmail.com）に直接ご連絡ください。

④事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。



琉球大学キャンパスマップ

10. 自由研究発表の申込み、シンポジウム・課題研究の要旨提出について

(1) 自由研究発表の申込者および大会当日の発表者は会員に限ります。自由研究発表は、一人当たり二つ（単独 1 件かつ連名 1 件、または連名 2 件）までといたします。シンポジウムと課題研究の発表はこれに含みません。なお、自由研究発表日時等の希望にはお応えできない場合もあります。

(2) 自由研究発表の申込みは、本学会 HP の【自由研究発表申込みフォーム】にて行います。申し込みは 6 月 17 日（月）から開始します。締切は 7 月 31 日（水）です。メールの添付ファイルあるいは FAX 等では受け付けません。

共同研究として複数の方が自由研究発表を申込まれる場合、申込みを行う代表者は会員である必要があります。非会員が含まれていても、連名で名前が記されている方はすべて参加申込および参加費の支払いが必要です。【大会参加（事前登録）申込フォーム】より個々に参加申込みをお願いします。

(3) 発表申込終了後、「発表申込受付番号」が自動送信されます。自動送信メールが送られてこない場合、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。

(4) 『大会発表論文集』の原稿は、8 月 5 日（月）から受け付けます。自由研究は 2p、課題研究・シンポジウムは 2p または 4p です。受付は本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】で行います。

メールの添付ファイルあるいは FAX 等では受け付けません。様式は昨年度と同じです。本学会 HP で確認してください。締切：9月9日（月）

(5) シンポジウム・課題研究の報告者の方も、本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】に要旨をアップロードしてください。自由研究発表と同じく、締切は9月9日（月）です。要旨ファイルの件名に【シンポジウム】【課題研究○】と入れてください(○は課題研究の I～V の番号)。

(6) 自由研究発表の日時は、大会プログラム（2次案内も大会 HP）に掲載します。

(7) 発表時間は 20 分、質疑応答 10 分の計 30 分です。

**【開始日・締切日一覧】**

- |                       |   |           |                  |
|-----------------------|---|-----------|------------------|
| ○参加費振り込み、大会参加事前登録の開始  | ： | 6月17日（月）  | 本学会 HP の「申込フォーム」 |
| ○自由研究発表申込みの開始         | ： | 6月17日（月）  | 本学会 HP の自由研究申込   |
| ○自由研究発表申込みの締切         | ： | 7月31日（水）  | 本学会 HP の自由研究申込   |
| ○『大会発表論文集』の原稿の受付開始    | ： | 8月5日（月）   | 本学会 HP で確認       |
| ○『大会発表論文集』の原稿の締切      | ： | 9月9日（月）   | 本学会 HP で確認       |
| ○参加費等振り込み、大会参加事前登録の締切 | ： | 10月18日（金） | 本学会 HP で確認       |

## 11. 問い合わせ先

住所：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学教育学部内

日本社会科教育学会第74回全国研究大会事務局（担当：北上田 源）

E-mail：[jass74ryukyu@gmail.com](mailto:jass74ryukyu@gmail.com)

※お問い合わせ等は、メールにてお願いいたします。